

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 12日

宮崎市長 殿



提出者

住 所 宮崎市佐土原町下那珂7624

氏 名 株式会社 戸敷開発

代表取締役 戸敷 泰士

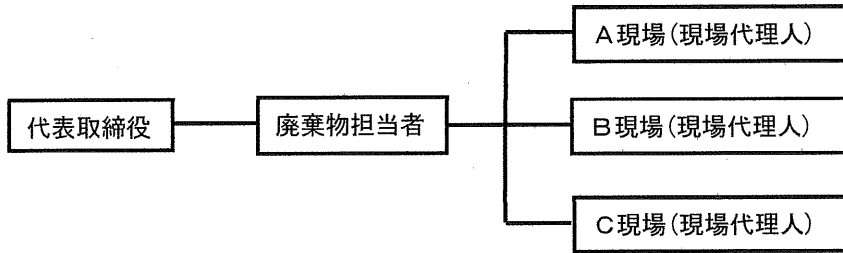
電話番号 0985-74-1502

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社戸敷開発
事業場の所在地	宮崎市佐土原町下那珂7624番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	令和4年度完成工事高 588百万円
③従業員数	29名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト殻→中間処理委託→再生アスファルト(再資源化) コンクリート殻(有筋)→中間処理委託(破碎)→再資源化 コンクリート殻(無筋)→中間処理委託(破碎)→再資源化 汚泥→中間処理委託→最終処分(固形化処理後埋め立て) 廃プラスチック類→最終処分委託(埋め立て)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 中間処理後、再生アスファルト混合物として再資源化 道路切断量を最小限にした。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 中間処理後、再生アスファルト混合物として再資源化 道路切断量を最小限にした。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：アスファルト殻、コンクリート殻、汚泥、廃プラスチック類 取組：アスファルト殻とコンクリート殻は別トラックで輸送
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：前年同様 取組：アスファルト殻とコンクリート殻は別トラックで輸送

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし。			
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥、廃プラスチック類を除いて再資源化を行う業者に委託し、再資源化を図った。		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥、廃プラスチック類を除いて再資源化を行う業者に委託し、再資源化を図る。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位：t

産業廃棄物の種類		アスファルト 殻	コンクリート殻	汚泥	廃プラスチック類	木くず	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状 (4年度実績)	排出量	1,815	111	3	0	29	1,958
②計画 (5年度目標)	排出量	700	200	1	1	20	922
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら再生利用を行った量						0
②計画 (5年度目標)	自ら再生利用を行う量						0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら熱回収を行った量						0
	自ら中間処理により減量した量						0
②計画 (5年度目標)	自ら熱回収を行う量						0
	自ら中間処理により減量する量						0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項							
①現状 (4年度実績)	自ら埋立処分を行った量						0
②計画 (5年度目標)	自ら埋立処分を行う量						0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状 (4年度実績)	全処理委託量	1,815	111	3	0	29	1,958
	内訳			3			3
	優良認定処理業者へ処理を委託した量						
	再生利用業者へ処理を委託した量	1,815	111		0	29	1,955
	認定熱回収業者へ処理を委託した量						0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量						0
②計画 (5年度目標)	全処理委託量	700	200	1	1	20	922
	内訳			1	1		2
	優良認定処理業者へ処理を委託する量						
	再生利用業者へ処理を委託する量	700	200			20	920
	認定熱回収業者へ処理を委託する量						0
	認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量						0